

## 情報共有システム(ASP)の概要

### ○情報共有システム(ASP)とは？

情報共有システム(ASP: Application Service Provider)とは、これまで紙や電話、メールで行っていた受発注者間の情報のやり取りを、インターネット上で行うためのクラウドシステムです。

工事の受注は書類を届けるために移動し、膨大な書類の印刷や保管、修正が大きな負担となっていますが、ASPを導入することにより、パソコン等から、書類の提出や確認、修正ができるため、移動時間やそれに伴う手間を削減することができます。発注者にとっても書類管理の負担軽減や電子による承認作業(電子決裁)ができるため業務の効率化が期待できます。

### ○情報共有システム(ASP)の主な機能

ほとんどの情報共有システム(ASP)は、国土交通省が定める機能要件に則って提供されています。

主な機能は以下の通りです。

#### 発議・提出・ワークフロー(電子決裁)

工事書類の発議・提出や決裁をウェブ上で完結。

書類が今「誰のところで止まっているか」がひと目でわかるため、業務の停滞を防ぎます。

#### スケジュール管理

関係者全員の予定を共有カレンダーで管理します。候補日が絞りやすいので、打ち合わせなどの日程調整がスムーズになります。

#### 掲示板・メッセージ

関係者への一斉連絡や質疑応答の記録を残すことで、情報伝達の漏れや「言った・言わない」のトラブルを防ぎます。

#### ファイル管理

図面や写真など、メールでは送れない大容量のデータを一元管理し、関係者間で共有できます。

#### 遠隔臨場

ネットワークカメラ等を用いて、現場事務所にいながら遠隔地で段階確認や立会いを実施できます。(任意機能)